

墨田工科高等学校 令和7年度

教科 工業（機械） 科目 情報基礎（選択）

教 科： 工業（機械） 科 目： 情報基礎（選択） 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 組

教科担当者：

使用教科書：（ 3 級情報技術検定試験標準問題集 全国工業高等学校長協会 ）

教科 工業（機械） の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解する。
- 情報技術に関する知識と技術を習得する。
- 工業の各分野において情報及び情報手段を主体的に活用する能力と態度を身につける。

科目 情報基礎（選択） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報技術に関する基礎的な知識と技術を理解し、情報技術を利用した情報の収集・処理・活用のために必要な技術を身につけている。	諸問題の解決をめざしてみずから思考を深め、問題解決方法を適切に判断する能力を身につけており、情報技術を活用して情報を処理・表現することができる。	情報技術に関する基礎的な知識と技術に関心を持ち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的・実践的な態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	産業社会と情報技術 1 コンピュータの構成と特徴 2 情報化の進展と産業社会	・コンピュータの基本構成について理解させる。 ・ハードウェアとソフトウェアの関係について理解させる。	【知識・技能】 コンピュータの構成要素をハードウェアとソフトウェアに区別でき、特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 コンピュータがパソコンだけでなく、制御や通信など多くの機器に組み込まれて活用されていることが考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータがどのような特徴をもち、利用されているかについて関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	3 情報化社会の権利とモラル 4 情報のセキュリティ管理	・コンピュータの特徴について理解させる。 ・コンピュータで用いるデータの表し方について理解させる。	【知識・技能】 コンピュータの構成要素をハードウェアとソフトウェアに区別でき、特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 コンピュータがパソコンだけでなく、制御や通信など多くの機器に組み込まれて活用されていることが考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータがどのような特徴をもち、利用されているかについて関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査						
	コンピュータの基本操作とソフトウェア 1 コンピュータの基本操作 2 ソフトウェアの基礎	・コンピュータの正しい利用手続き、キーボードやマウスの基本的な操作について理解させる。 ・作成したデータ保存やデータ利用に必要な補助記憶装置の取り扱いについて理解させる。	【知識・技能】 キーボードやマウスを扱う技術を習得している。 【思考・判断・表現】 各種記憶装置の取り扱い方の必要性が判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータの起動・終了、キーボードの操作、マウスの基本操作、記憶装置の取り扱いなどに関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	コンピュータの基本操作とソフトウェア 3 コンピュータの基本操作 4 ソフトウェアの基礎	・コンピュータの正しい利用手続き、キーボードやマウスの基本的な操作について理解させる。 ・作成したデータ保存やデータ利用に必要な補助記憶装置の取り扱いについて理解させる。	【知識・技能】 キーボードやマウスを扱う技術を習得している。 【思考・判断・表現】 各種記憶装置の取り扱い方の必要性が判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータの起動・終了、キーボードの操作、マウスの基本操作、記憶装置の取り扱いなどに関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査						

2 学 期	情報技術の活用と問題の発見・解決 1 マルチメディア 2 文書の電子化 3 問題の発見・解決	・コンピュータで用いるデータの表し方について理解させる。 ・表計算の活用	【知識・技能】 コンピュータに周辺装置について理解し、適切に接続する技術を習得している。 【思考・判断・表現】 利用目的に応じた適切な周辺装置を選択し、提案することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 処理装置と周辺装置に関心がある。そして、意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	情報技術の活用と問題の発見・解決 4 マルチメディア 5 文書の電子化 6 問題の発見・解決	・コンピュータで用いるデータの表し方について理解させる。 ・表計算の図形活用	【知識・技能】 コンピュータに周辺装置について理解し、適切に接続する技術を習得している。 【思考・判断・表現】 利用目的に応じた適切な周辺装置を選択し、提案することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 処理装置と周辺装置に関心がある。そして、意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査						
	情報技術の活用と問題の発見・解決 7 マルチメディア 8 文書の電子化 9 問題の発見・解決	・コンピュータで用いるデータの表し方について理解させる。 ・表計算の活用 ・表計算の図形活用	【知識・技能】 コンピュータに周辺装置について理解し、適切に接続する技術を習得している。 【思考・判断・表現】 利用目的に応じた適切な周辺装置を選択し、提案することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 処理装置と周辺装置に関心がある。そして、主体的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	情報技術の活用と問題の発見・解決 10 マルチメディア 11 文書の電子化 12 問題の発見・解決	・コンピュータで用いるデータの表し方について理解させる。 ・表計算の活用 ・表計算の図形活用	【知識・技能】 コンピュータに周辺装置について理解し、適切に接続する技術を習得している。 【思考・判断・表現】 利用目的に応じた適切な周辺装置を選択し、提案することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 処理装置と周辺装置に関心がある。そして、意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査						

